



日本航空株式会社
2013年3月期
第3四半期決算説明会



2013年2月4日

2013年3月期 第3四半期 業績サマリー

- 第3四半期決算 業績概況 P.3
- 2013年3月期通期 業績見通しの変更 P.4

2013年3月期 配当方針について P.5

787型機の運航見合わせについて P.6

2013年3月期 第3四半期 業績詳細

- 連結経営成績 P.8
- 営業利益増減の推移 P.9
- 国際旅客事業 P.10-11
- 国内旅客事業 P.12-13
- 主要営業費用項目 P.14
- 財務状況 P.15
- キャッシュフロー P.16

2013年3月期通期 業績予想

- 連結業績 P.18
- 予想連結営業利益の修正 P.19
- 連結貸借対照表／キャッシュフロー P.20

参考資料

- 国際線収入大路別実績 P.22
- 2013年3月期予想(航空運送事業) P.23
- 航空機保有数の推移 P.24
- 路線・便数計画の更新情報 P.25



JAPAN AIRLINES

2013年3月期 第3四半期 業績サマリー

常務執行役員 財務経理本部長 齊藤 典和

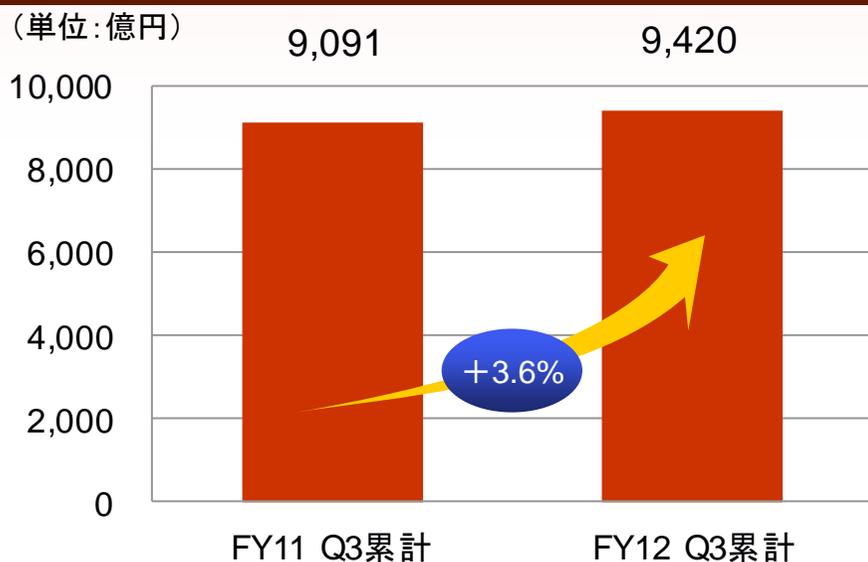
第3四半期決算 業績概況



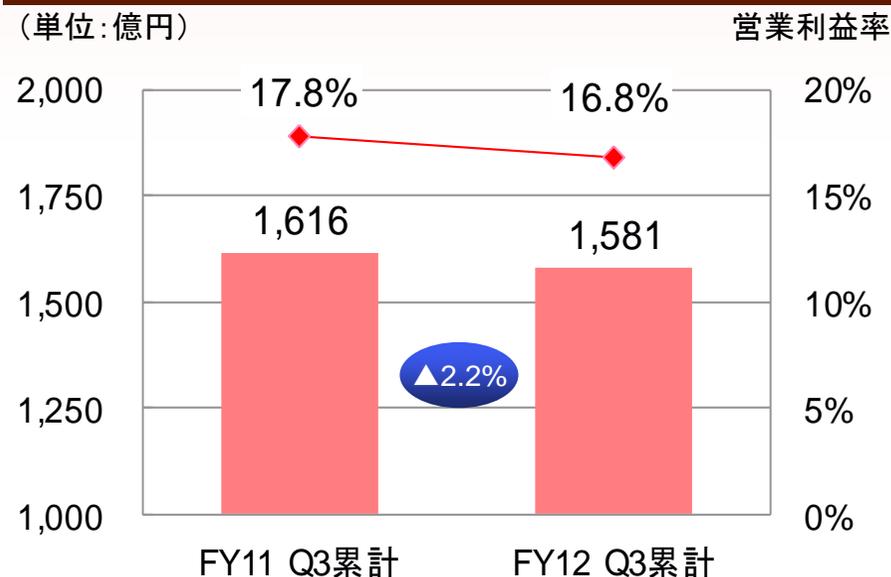
JAPAN AIRLINES

- ✓ 第3四半期累計の営業利益は1,581億円となり(前年同期比で▲2.2%)、高い営業利益率を維持
- ✓ 自己資本比率は44.8%となった

営業収益



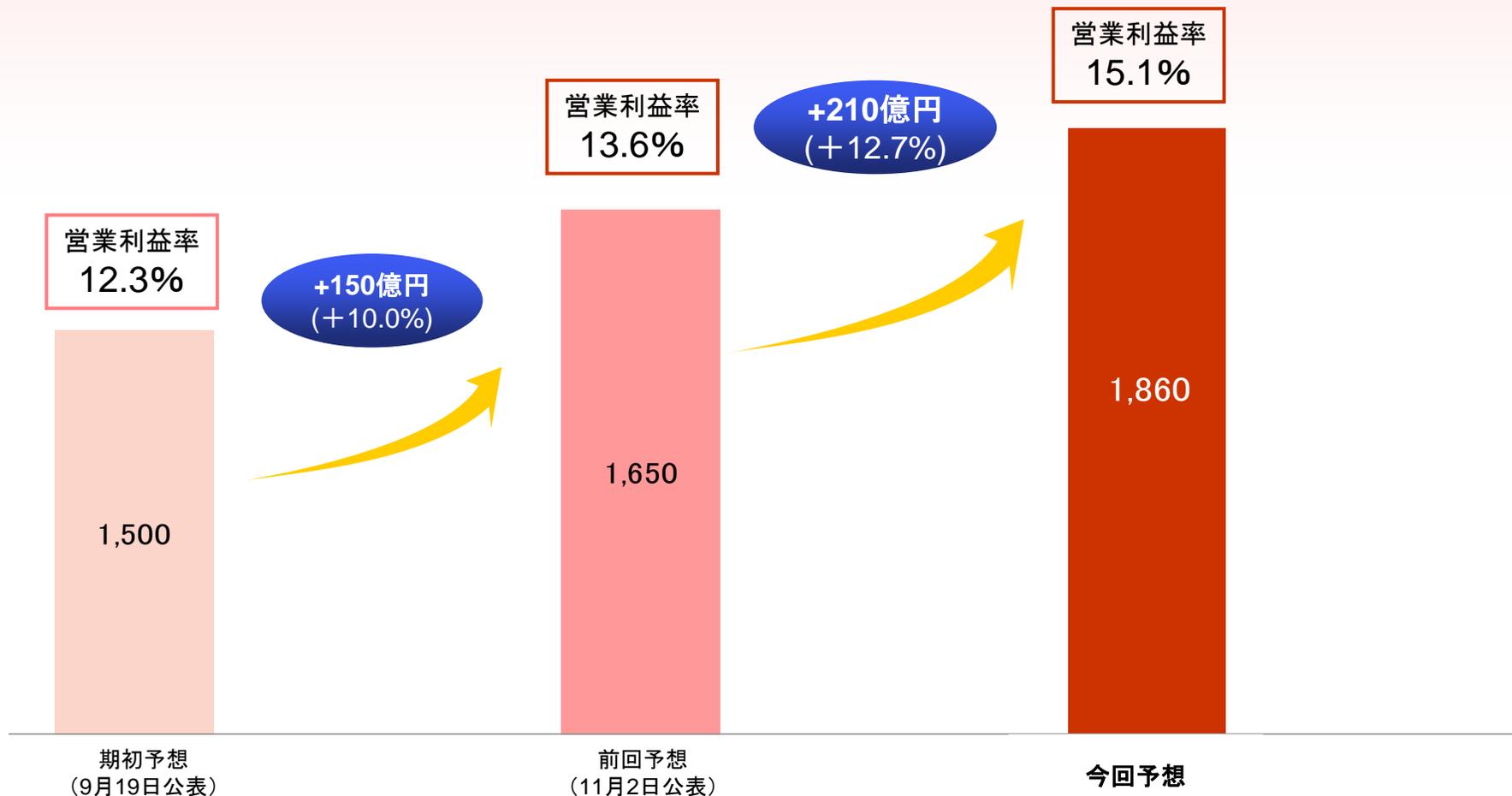
営業利益



(単位:億円)	前年度末 2012/3/31	当四半期末 2012/12/31	前年度末差
自己資本比率 (%)	35.7%	44.8%	+9.1pt

営業利益の上方修正

(単位: 億円)



配当性向の修正

- ✓ 株主の皆さまへ積極的に利益還元する基本方針に鑑み、今期配当性向を15%程度から20%程度へ修正
- ✓ 目標とする自己資本比率50%達成を控え、株主還元策を強化



配当金の見通し

	2013/3/31
2013年3月期 当期純利益 見通し	1,630億円
発行済株式数	181,352,000株
2013年3月期 配当金	180円00銭

787型機の運航見合わせについて

- 1月16日より787型機(保有7機)による運航を見合わせ
- 保有代替機材による運航を実施

至近の対応

【一時的に運休】

路線	運休期間	週間便数
成田=サンディエゴ	2013年 1月16日～28日	4

(2月4日時点)

【代替機材による運航】

路線	代替機材	変更期間※	週間便数
成田=ポストン	777-200ER	2013年 1月19日～	7
成田=サンディエゴ	777-200ER	2013年 1月30日～	4
成田=モスクワ	777-200ER	2013年 1月18日～	3
成田=シンガポール	767-300ER	2013年 1月19日～	14
羽田=シンガポール	767-300ER	2013年 1月19日～	7
羽田=北京	767-300ER	2013年 1月17日～	7

1月16日～2月28日間の欠航

	便数	影響旅客数
欠航	56	約6,570名

今後の対応について

➤ 既存787型機投入路線について

- ・ 自社保有機材へ機材変更し運航を継続
一部路線において運航日、スケジュール変更を実施

(2月4日時点)

2/18-28	欠航
成田=ポストン	4便
成田=サンディエゴ	2便

➤ ヘルシンキ路線について

- ・ 2月25日の開設を延期することを決定
- ・ 新しい開設時期は確定次第改めてご案内

参考

【機種別 座席数】

機材	座席数
787-8	186 (C ⁽¹⁾ :42 Y ⁽²⁾ :144)
777-200ER ⁽³⁾	245 (C:56 Y:189)
767-300ER ⁽³⁾	227 (C:30 Y:197)
737-800 ⁽³⁾	144 (C:12 Y:132)

注:

1. C=ビジネスクラス 2. Y=エコノミークラス 3. 代表機材例

※2月28日までの期間。3月1日以後の運航便状況については決定次第お知らせ



JAPAN AIRLINES

2013年3月期 第3四半期 業績詳細

連結経営成績

- ✓ 営業収益9,420億円、営業利益1,581億円
- ✓ 売上高営業利益率は16.8%

(単位:億円)	前年同期	第3四半期累計	前年同期比	第3四半期 ⁽¹⁾	前年同期比
営業収益	9,091	9,420	+3.6%	3,078	▲0.5%
航空運送連結	8,169	8,430	+3.2%	2,753	▲0.8%
営業費用	7,474	7,838	+4.9%	2,618	+3.2%
航空運送連結	6,674	7,043	+5.5%	2,353	+3.8%
営業利益	1,616	1,581	▲2.2%	459	▲17.1%
航空運送連結	1,494	1,387	▲7.2%	400	▲21.4%
営業利益率 (%)	17.8%	16.8%	▲1.0pt	14.9%	▲3.0pt
経常利益	1,560	1,542	▲1.2%	431	▲18.4%
四半期純利益	1,460	1,406	▲3.7%	409	▲15.8%
RPK(百万人キロ)	38,816	43,009	+10.8%	14,468	+6.6%
ASK(百万席キロ)	58,532	61,075	+4.3%	20,279	+1.3%
EBITDAマージン (%) ⁽²⁾	24.7%	23.3%	▲1.3pt	21.7%	▲3.0pt
EBITDARマージン (%) ⁽³⁾	27.3%	25.8%	▲1.5pt	24.2%	▲3.2pt
ユニットコスト(円) ⁽⁴⁾	11.4	11.5	+0.1	11.6	+0.1

注:

1. 第3四半期(10-12月)の実績は第3四半期累計実績(4-12月)から第2四半期(4-9月)の実績を差し引いて算出
2. EBITDAマージン=EBITDA/営業収益 EBITDA=営業利益+減価償却費
3. EBITDARマージン=EBITDAR/営業収益 EBITDAR=営業利益+減価償却費+航空機材賃借料
4. ユニットコスト=航空運送連結費用/ASK

営業利益増減の推移

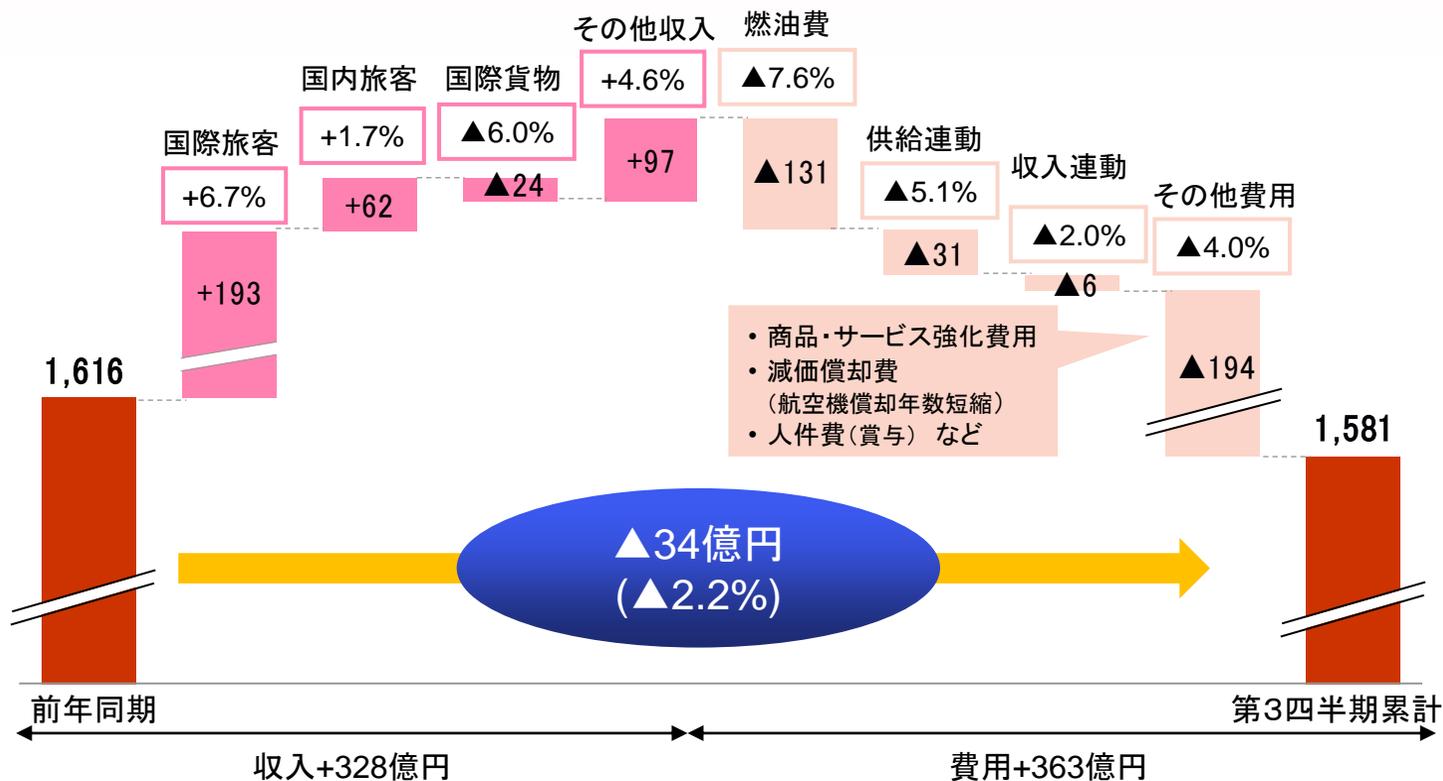


JAPAN AIRLINES

第3四半期累計

ASK前年同期比: +4.3%
 RPK前年同期比: +10.8%

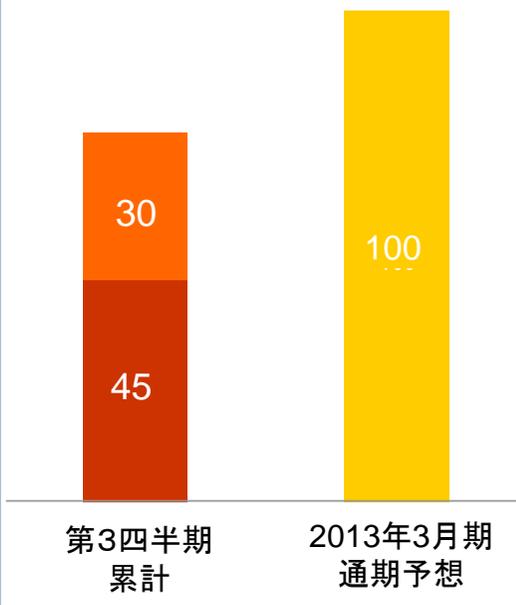
(単位: 億円)



費用効率化の進捗状況(航空運送事業)

(単位: 億円)

- 部門別採算制度の浸透による、費用削減
- 生産性向上による費用削減



国際旅客事業(輸送実績)

国際線	前年同期	第3四半期累計	前年同期比	第3四半期	前年同期比
旅客収入(億円)	2,889	3,083	+6.7%	980	▲0.1%
有償旅客数(千人)	4,971	5,618	+13.0%	1,840	+4.5%
RPK(百万人キロ)	22,067	25,430	+15.2%	8,578	+11.8%
ASK(百万席キロ)	32,059	33,387	+4.1%	11,260	+3.4%
座席利用率(%)	68.8%	76.2%	+7.3pt	76.2%	+5.7pt
ユニットレベニュー(円) ⁽¹⁾	9.0	9.2	+2.5%	8.7	▲3.4%
イールド(円) ⁽²⁾	13.1	12.1	▲7.4%	11.4	▲10.6%
単価(円) ⁽³⁾	58,132	54,878	▲5.6%	53,278	▲4.4%

注:

1. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
2. イールド=旅客収入/RPK
3. 単価=旅客収入/有償旅客数

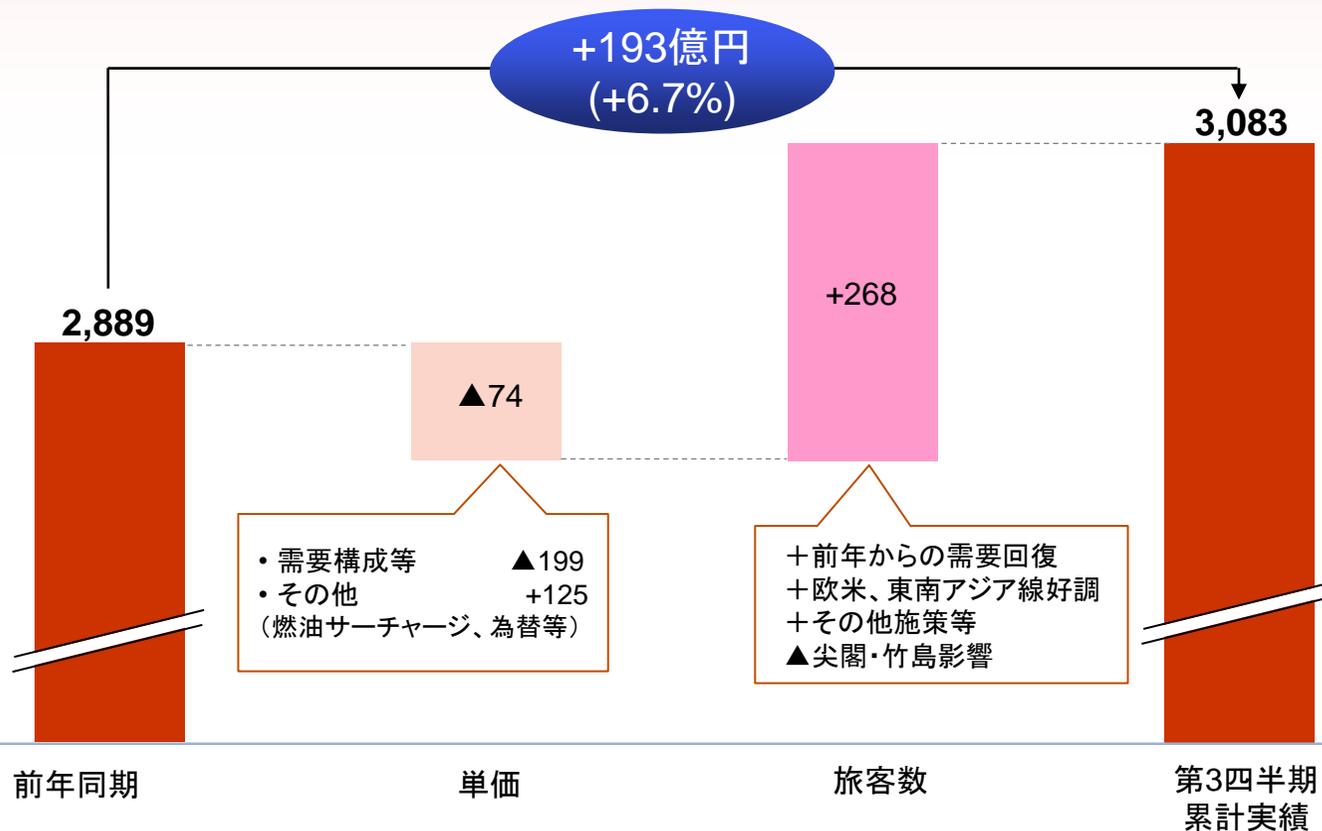
国際旅客事業（旅客収入の推移）



JAPAN AIRLINES

✓ 旅客数の増加を主因として、第3四半期累計で前年同期比193億円の増収

第3四半期累計



➤ 欧米、東南アジア等の中長距離路線好調

<L/F>	当年	(前年)
米州線	75.9%	(74.4%)
欧州線	75.9%	(71.8%)
東南アジア線	78.0%	(68.2%)

➤ 成田=ポストン/サンディエゴ線就航

➤ 尖閣・竹島問題影響

9~12月のマイナス影響額は約45億円(国際旅客収入の1.5%程度)

国内旅客事業(輸送実績)



JAPAN AIRLINES

国内線	前年同期	第3四半期累計	前年同期比	第3四半期	前年同期比
旅客収入(億円)	3,672	3,734	+1.7%	1,230	▲0.7%
有償旅客数(千人)	21,839	22,946	+5.1%	7,719	+0.7%
RPK(百万人キロ)	16,748	17,579	+5.0%	5,889	▲0.1%
ASK(百万席キロ)	26,472	27,687	+4.6%	9,019	▲1.1%
座席利用率(%)	63.3%	63.5%	+0.2pt	65.3%	+0.7pt
ユニットレベニュー(円) ⁽¹⁾	13.9	13.5	▲2.8%	13.6	+0.4%
イールド(円) ⁽²⁾	21.9	21.2	▲3.1%	20.9	▲0.6%
単価(円) ⁽³⁾	16,817	16,276	▲3.2%	15,935	▲1.4%

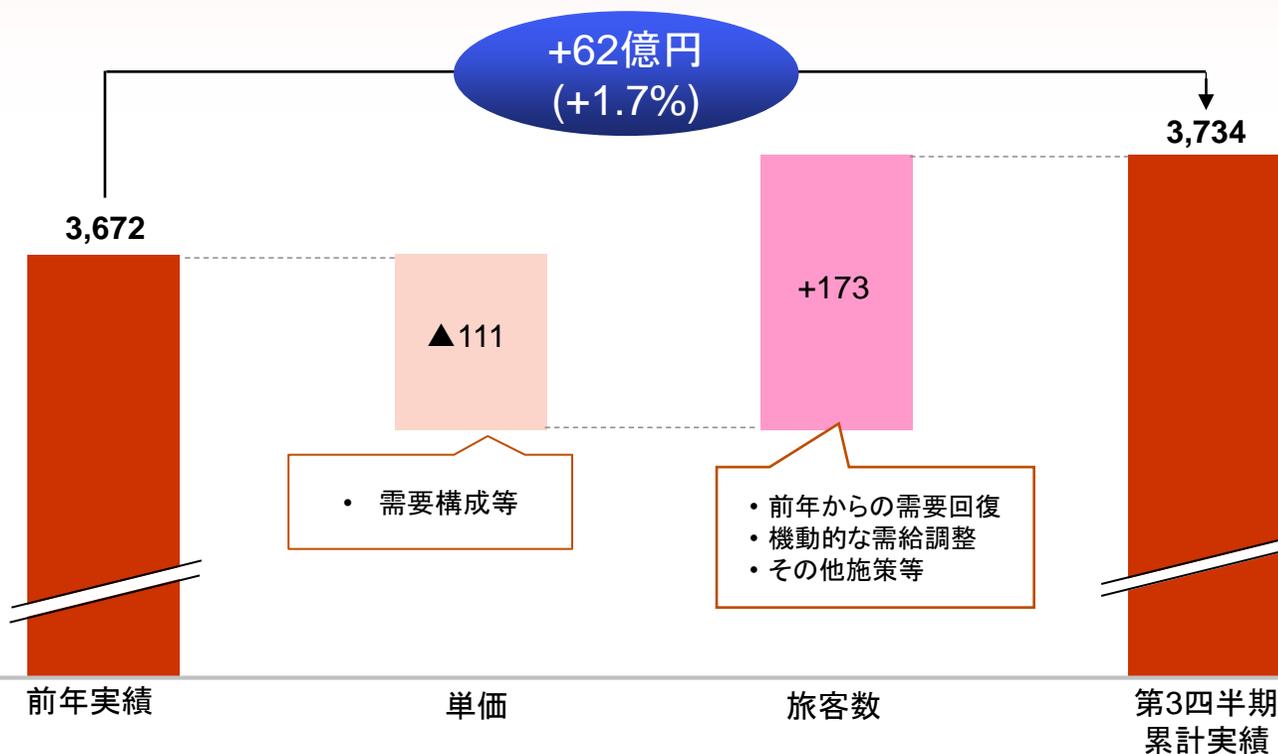
注:

1. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
2. イールド=旅客収入/RPK
3. 単価=旅客収入/有償旅客数

国内旅客事業(旅客収入の推移)

✓ 安定した国内旅客収入を維持し、第3四半期累計で前年同期比で62億円増

第3四半期累計



- ファーストクラス設定便の増加、羽田=沖縄線への導入
- クラスJの増席
- 福岡=花巻 札幌=新潟線の再開
- 羽田=出雲、札幌=仙台、福岡=宮崎線の増便
- 年末年始期間に「先得」「スーパー先得」を設定

主要営業費用項目



JAPAN AIRLINES

営業費用内訳

(単位: 億円)	前年同期	第3四半期累計	前年同期比	第3四半期 ⁽¹⁾	前年同期比
燃油費	1,724	1,856	+7.6%	614	+4.9%
運航施設利用費	534	566	+5.9%	186	+1.9%
整備費	183	236	+29.1%	87	+24.9%
販売手数料	169	153	▲9.1%	51	▲12.6%
航空機材減価償却費	419	457	+9.0%	154	+10.7%
航空機材賃借料	244	234	▲4.0%	76	▲3.0%
人件費	1,590	1,693	+6.5%	564	+3.9%
その他	2,609	2,640	+1.2%	882	+0.5%
営業費用計	7,474	7,838	+4.9%	2,618	+3.2%

(参考)ASK 第3四半期累計前年同期比: +4.3%

燃油・為替前提

	前年同期	第3四半期 累計	前年 同期比	第3四半期	前年 同期比
燃油: シンガポールケロシン (ドル/BBL)	128.2	126.5	▲1.3%	129.3	+3.5%
燃油: 日本入着原油 (ドル/BBL)	111.9	114.9	+2.7%	113.6	+3.0%
為替: USDドル(円/ドル)	79.0	80.1	+1.4%	79.8	+3.9%

燃油・為替の感応度

(営業利益ベース/ヘッジしない場合)

(億円)	FY11	FY12
原油 (1ドル/BBL変動)	20	20
為替 (1円/米ドル)	25	25

注:

- 第3四半期(10-12月)の実績は第3四半期累計実績(4-12月)から第2四半期累計(4-9月)の実績を差し引いて算出

- ✓ 有利子負債残高は返済により1,751億円
- ✓ 自己資本比率は9.1pt増加の44.8%

(単位:億円)	前年度末 2012/3/31	当四半期末 2012/12/31	前年度末差
総資産	10,876	11,768	+892
現金及び預金	2,724	3,174	+450
有利子負債残高 ⁽¹⁾	2,084	1,751	▲333
オフバランス未経過リース料	2,294	2,085	▲209
自己資本	3,885	5,271	+1,385
自己資本比率 (%)	35.7%	44.8%	+9.1pt
D/Eレシオ(倍) ⁽²⁾	0.5x	0.3x	▲0.2x
ネットD/Eレシオ(倍) ⁽³⁾	▲0.2x	▲0.3x	▲0.1x

注:

1. 割賦未払金が含まれる
2. D/Eレシオ=(オンバランス有利子負債)÷(自己資本)
3. ネットD/Eレシオ=(オンバランス有利子負債-現預金)÷(自己資本)
小数第2位を四捨五入

(参考)

オフバランス未経過リース料込みのD/Eレシオ:0.7x、ネットD/Eレシオ:0.1x

キャッシュフロー



JAPAN AIRLINES

(単位:億円)	前年同期	第3四半期累計	前年同期差
税金等調整前四半期純利益	1,612	1,540	▲72
減価償却費	624	616	▲8
その他	▲330	▲167	163
営業キャッシュフロー合計	1,907	1,989	82
設備投資額 ⁽¹⁾	▲810	▲1,106	▲295
その他	306	▲10	▲317
投資キャッシュフロー合計⁽²⁾	▲504	▲1,117	▲613
フリーキャッシュフロー⁽³⁾	1,403	872	▲530
有利子負債返済 ⁽⁴⁾	▲2,517	▲349	2,168
その他	12	▲84	▲97
財務キャッシュフロー	▲2,504	▲434	2,070
キャッシュフロー合計⁽⁵⁾	▲1,101	438	1,539
EBITDA	2,241	2,198	▲43
EBITDAR	2,485	2,432	▲52

注:

1. 固定資産の取得による支出
2. 定期預金の入出金を除く
3. 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー
4. 長期借入金の返済+リース債務の返済
5. 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー



JAPAN AIRLINES

2013年3月期通期 業績予想

2013年3月期業績予想(連結業績)



JAPAN AIRLINES

(単位:億円)	FY11実績	FY12今回予想	FY12前回予想	前回予想差
営業収益	12,048	12,280	12,150	+130
営業費用	9,998	10,420	10,500	▲80
営業利益	2,049	1,860	1,650	+210
経常利益	1,976	1,770	1,550	+220
当期純利益	1,866	1,630	1,400	+230

(単位:億円)		FY12今回予想	FY12前回予想
営業収益	国際旅客収入	4,040	3,920
	国内旅客収入	4,820	4,820
	貨物郵便収入	840	840
	その他の収入	2,580	2,570
燃油費		2,480	2,520
燃油費以外		7,940	7,980
ユニットコスト(円)		11.5	11.5

	FY12今回予想	FY12前回予想
ASK(FY11実績を100として)	103.9	104.6
国際線	104.6	105.7
国内線	103.1	103.3
RPK(FY11実績を100として)	107.7	106.5
国際線	111.0	109.9
国内線	103.1	102.8
燃油前提(米ドル/BBL)		
シンガポールケロシン	130	130
日本入着原油(CIFJ)	119	119
為替前提(ドル/円)	85.0	85.0

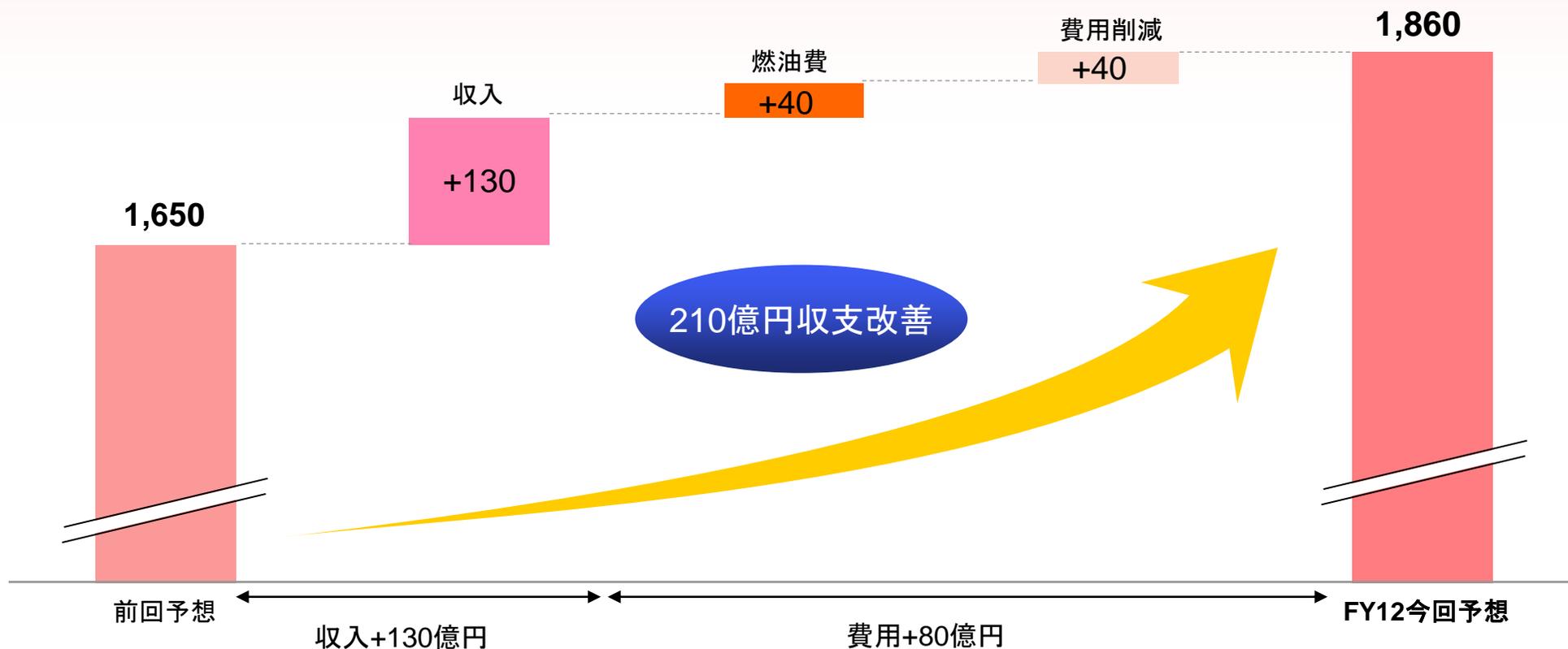
2013年3月期業績予想(予想連結営業利益の修正)



JAPAN AIRLINES

- ✓ 前回公表業績予想より営業利益は210億円改善し、1,860億円へ上方修正
- ✓ 営業収益は130億円増加、燃油費は40億円減少し、その他費用項目で40億円の削減の見込み

(単位:億円)



2013年3月期業績予想(連結貸借対照表/キャッシュフロー)



JAPAN AIRLINES

連結貸借対照表

(億円)	FY11末実績	FY12今回予想	FY12前回予想	前回予想差
総資産	10,876	11,900	11,740	+160
有利子負債残高	2,084	1,590	1,750	▲160
自己資本	3,885	5,440	5,210	+230
自己資本比率 (%)	35.7%	45.7%	44.4%	+1.3pt
ネットD/Eレシオ(倍) ⁽¹⁾	0.4x	0.0x	0.0x	▲0.0x
ROA (%) ⁽²⁾	14.8%	15.2%	12.4%	+2.8pt

連結キャッシュフロー

(億円)	FY11実績	FY12今回予想	FY12前回予想	前回予想差
営業キャッシュフロー	2,566	2,460	2,160	+300
投資キャッシュフロー ⁽³⁾	▲624	▲1,310	▲1,110	▲200
フリーキャッシュフロー ⁽³⁾	1,941	1,150	1,050	+100
財務キャッシュフロー	▲2,744	▲570	▲410	▲160
EBITDA	2,861	2,660	2,450	+210
EBITDAR	3,184	2,980	2,770	+210

注:

1. ネットD/Eレシオ=(オンバランス有利子負債+オフバランス未経過リース料-現預金)/(自己資本)、予想値に関しては航空機未経過リース料予想値を用いる
2. ROA = 営業利益/(((期初総資産+期末総資産)+(期初オフバランス未経過リース料+期末オフバランス未経過リース料))/2)、
予想値に関しては航空機未経過リース料予想値を用いる
3. 定期預金の入出金を除く



JAPAN AIRLINES

参考資料

《参考》国際線収入大路別実績



JAPAN AIRLINES

旅客収入(対国際線全体比率)

(単位:%)	前年同期	第3四半期 累計	前年同期 差	第3四半期	前年同期 差
太平洋線	32.5%	34.0%	+1.5pt	34.5%	+2.5pt
欧州線	19.0%	19.0%	+0pt	17.0%	▲0.5pt
アジア・オセアニア	35.5%	36.0%	+0.5pt	38.5%	+1.0pt
中国線	13.0%	11.0%	▲2.0pt	10.0%	▲3.0pt

有償旅客数

(単位:千人)	前年同期	第3四半期 累計	前年同期 比	第3四半期	前年同期 比
太平洋線	1,144	1,271	+11.1%	428	+9.9%
欧州線	459	506	+10.4%	165	+6.7%
アジア・オセアニア	2,491	2,987	+19.9%	1,016	+11.0%
中国線	875	853	▲2.6%	229	▲23.4%

ASK

(単位: 百万席キロ)	前年同期	第3四半期 累計	前年同期 比	第3四半期	前年同期 比
太平洋線	11,189	11,955	+6.9%	4,094	+9.1%
欧州線	6,189	6,221	+0.5%	2,015	▲2.0%
アジア・オセアニア	12,193	12,712	+4.3%	4,324	+2.3%
中国線	2,486	2,498	+0.5%	825	▲3.7%

L/F

(単位:%)	前年同期	第3四半期 累計	前年同期 比	第3四半期	前年同期 比
太平洋線	76.2%	81.2%	+5.1pt	80.1%	+2.7pt
欧州線	69.9%	76.9%	+7.0pt	77.7%	+6.2pt
アジア・オセアニア	62.1%	73.4%	+11.3pt	76.4%	+11.6pt
中国線	66.2%	64.0%	▲2.1pt	52.1%	▲13.7pt

RPK

(単位: 百万人キロ)	前年同期	第3四半期 累計	前年同期 比	第3四半期	前年同期 比
太平洋線	8,523	9,711	+13.9%	3,278	+12.9%
欧州線	4,326	4,781	+10.5%	1,566	+6.5%
アジア・オセアニア	7,572	9,336	+23.3%	3,303	+20.7%
中国線	1,645	1,599	▲2.8%	429	▲23.8%

《参考》2013年3月期業績予想(航空運送事業)



JAPAN AIRLINES

(前年同期比%)	国際旅客			国内旅客		
	上期(実績)	下期(予想)	2012年度 (今回予想)	上期(実績)	下期(予想)	2012年度 (予想)
ASK	+4.5%	+4.7%	+4.6%	+7.6%	▲1.1%	+3.1%
RPK	+17.1%	+5.5%	+11.0%	+7.7%	▲1.3%	+3.1%
有償旅客数	+17.7%	+2.1%	+9.4%	+7.4%	▲0.4%	+3.4%
座席利用率(%)	76.2%	73.4%	74.8%	62.6%	62.7%	62.7%
	(+8.2pt)	(+0.0pt)	(+4.4pt)	(0.1pt)	(▲0.1pt)	(▲0.0pt)
ユニットレベニュー(円) ⁽¹⁾	9.5	8.5	9.0	13.4	12.9	13.2
	(+5.4%)	(▲4.8%)	(+0.3%)	(▲4.3%)	(▲1.5%)	(▲2.9%)
イールド(円) ⁽²⁾	12.5	11.5	12.0	21.4	20.6	21.0
	(▲5.9%)	(▲5.6%)	(▲5.6%)	(▲4.4%)	(▲1.3%)	(▲2.8%)
単価(円) ⁽³⁾	55,657	52,184	53,946	16,449	15,723	16,090
	(▲6.4%)	(▲2.5%)	(▲4.2%)	(▲4.2%)	(▲2.2%)	(▲3.1%)

注:

1. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
2. イールド=旅客収入/RPK
3. 単価=旅客収入/有償旅客数

《参考》航空機保有数の推移



JAPAN AIRLINES

航空機数の推移(連結ベース)

		前年度末 2012/3/31			当四半期末 2012/12/31			増減
		所有	リース	合計	所有	リース	合計	
大型機	Boeing 777-200	15	0	15	15	0	15	--
	Boeing 777-200ER	11	0	11	11	0	11	--
	Boeing 777-300	7	0	7	7	0	7	--
	Boeing 777-300ER	13	0	13	13	0	13	--
中型機	Boeing 787-8	2	0	2	7	0	7	+5
	Boeing 767-300	17	0	17	16	0	16	▲1
	Boeing 767-300ER	14	18	32	14	18	32	--
小型機	MD90	13	0	13	4	0	4	▲9
	Boeing 737-400	16	2	18	14	2	16	▲2
	Boeing 737-800	9	32	41	18	31	49	+8
リージョナル機	Embraer 170	10	0	10	11	0	11	+1
	Bombardier CRJ200	9	0	9	9	0	9	--
	Bombardier D8-400	7	4	11	9	2	11	--
	SAAB340B	9	2	11	9	2	11	--
	Bombardier D8-300	1	0	1	1	0	1	--
	Bombardier D8-100	4	0	4	4	0	4	--
	合計	157	58	215	162	55	217	+2

《参考》路線・便数計画の更新情報



JAPAN AIRLINES

国際線

【運休】		
路線	変更内容(往復)	運休時期
	機材	
成田=ヘルシンキ	週間4便⇒週間0便 787-8	2013年02月25日～
【減便】		
路線	変更内容(往復)	変更時期
	機材	
関西=ソウル(金浦)	週間14便⇒週間7便 737-800	2013年3月31日～

羽田=中部線開設に伴う羽田・中部乗り継ぎ便について

羽田	⇒	中部	⇒	羽田
出発		到着	出発	到着
08:10	⇒	09:10	20:45	⇒ 21:45

【羽田路線】	羽田出発時間	羽田到着時間
羽田=ホノルル	23:30	22:00
羽田=サンフランシスコ	0:05	22:20
羽田=パリ	0:40	6:30
羽田=シンガポール	1:00	5:45
羽田=バンコク	1:35	6:00

【中部路線】	中部出発時間	中部到着時間
天津	10:30	17:45

羽田=中部線の開設により、羽田空港の深夜早朝時間帯に運航している国際線、中部空港を発着する天津線が乗継可能となり、中部地区と羽田空港の接続性が向上

国内線

【新規開設】		
路線	変更内容(往復)	開設時期
羽田=中部	1日0便⇒1便	2013年3月31日～

【開設(再開)】		
路線	変更内容(往復)	増便時期
伊丹=松山	1日0便⇒3便	2013年3月31日～
伊丹=函館	1日0便⇒1便	2013年3月31日～
伊丹=三沢	1日0便⇒1便	2013年3月31日～

【主な増便】		
路線	変更内容(往復)	増便時期
羽田=札幌	1日17便⇒18便	2013年3月31日～
羽田=那覇	1日13便⇒14便	2013年3月31日～
伊丹=札幌	1日2便⇒3便	2013年5月1日～
伊丹=福岡	1日2便⇒5便	2013年3月31日～
伊丹=仙台	1日6便⇒7便	2013年3月31日～
伊丹=花巻	1日3便⇒4便	2013年3月31日～
伊丹=新潟	1日3便⇒4便	2013年3月31日～
伊丹=大分	1日2便⇒3便	2013年3月31日～
伊丹=宮崎	1日5便⇒6便	2013年3月31日～

※本表は時刻表スケジュールに基づいております。
787型機運航見合わせに伴う代替機材は含んでおりません。



誠にありがとうございました。

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務経理本部 財務部

電話番号 03-5460-3068

本資料には、日本航空株式会社(以下「当社」といいます)及びそのグループ会社(以下当社と併せて「当社グループ」といいます)に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点(又はそこに別途明記された時点)において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点(又はそこに別途明記された時点)のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。